

聯盟機構内の各國政府に招請狀

【セオ】十七日問題）蘇聯邦外務大臣莫利トフ氏は十七日午後一時外務人民委員部長に外人記者の團を引見し、國庫食料とテクノロジーがアキアの所蔵によつて、醜態を蒙つた國家を局に際し、略略的行動取中の處置を納めよとため、召喚する不安の如く語つた。

英國に招請狀を手交

恐らく受諾はすまい

爆弾の上の歐洲

「ロンドン十七日新聞」駐英ソヴエイト大使マイスキー氏は、本國政府の國會に基づき十七日午後二時より外務省を訪問し、閣下二閣するソヴエイト政府提唱の國際會議を加賀狀を授けられた。

「ロンドン十七日新聞」ソヴエイト外務人民委員ワトウグニ氏が、ソヴエイトの提唱を受諾すべき世界は二分されるで、殊に英米交渉が目前下ローマで進行してゐる中、イギリスが直ちにソヴエイトの提案を承認するが如きは斯ういふ地位で、一方チアコスコロヤが除外されてゐるため其他の國が問題に關しては過般の懸念を少壯

照會が即時解決を企圖すべしと主張するに對し、長足關係を事斷落着くまで静觀べしと説き、對立を牽し、スペイン問題で更にこの對立を激化してゐる情狀を

電報へへ降されてゐる。

恐らく受諾はす

獨逸國會を廢止
大評議會創設か

ヒ 總統首腦部と協議

武勲の凱旋將軍に
御陪食仰付らる

武勳の凱旋將軍に
御陪食仰付らる

【東京通信】 天皇陛下には、南京戦時の御武勳により御祝賀を仰せられた朝野各階層の下を始り奉り、御陪食命令は高橋統規、松井石根等、前軍司令官、河川平助等、中軍支隊に降した全野天中將、並に江留親で武勳を立て十七日、

【東京通信】 天皇陛下には、五等軍功以下各階級、十八日正午御陪食命令にされ御祝賀の仰せられたる御陪食を仰付られた、これより先、山軍中將、通管總務官を正し、正午時正午御陪食所に、おい、松山陸尉、宇佐美武官、

長待立して、大元帥陛下に、御伴付けられ江留親親に於る軍統上奉る、畏も、陛下には、既降した御祝賀の御奉るに、更に御祝賀伴付を下賜するの御を仰せられた、かくて、陛下に正し、皇明陛下出向、御陪食御祝賀を、京

本大元帥官邸下には御陪食、朝本軍官官邸下を御の御伴付、五等軍功正官の松田、飯田、田上村を少将を召され、陸山陸尉、梅津大尉、多田参謀、大元帥官邸、松田参謀、百武将等、宇佐美武官以下、御伴付にも御陪食仰付られ

午饗の御陪食を饗はり、終つて別席において茶點を饗ひる將軍を御迎へ召されて、それ、武勳等御車、又將兵の上を思召され何かと御下向を饗はり、午後一時過、天候漸しく入雨、一同先電に、感、之中下は、向この日、陛下には、午前十二時半、閣下において大元帥大佐以下二十三名の將校、御招待して別席に饗を饗ひ、御陪食をあらせられた。

【東京通信】 次いでテニスマッチを臨観し、次いでテニスマッチを臨観し、

蘇の提案は一種の軍事同盟

英政府の危機

遂に最高潮に達す

蘇の参戦明白

莫府特派の現役中尉

我軍臨城を占領

徐州へ僅か廿キ口

我軍崇明島に上陸

海軍部隊と協力中

崇明を占領

ランコ軍三度
ルセロナ空襲
○十七日同報云　人民院
を開始し、午前十時臨時開
る。全人會議は本月廿九
十分鐘東京の下午一時開
る。午前十時臨時開

(八日同報)　上海軍六日
日本海軍の統帥部は、
日清停戦協定(ヘルゼン)
に照した協約を行ひ、更に先
十五名、員數を多数を出した
こと。

應召軍人歸還者
答禮廢止

フロイド氏
逮捕説
反ナチの嫌疑か

精神分析として知られたる世界的
心理學者ウイン大學生長ジグモン
ド・フロイド博士は十七日午後ウ
インの自宅において逮捕されたと
傳へられ、フロイド氏逮捕の理由
は不明だが反ナチス派と見られた

相二拔川
良い物は
分火事で
まして未
が有る物

は……」と云ふ話に「災事におあひなつたとは少しも存じませんでした」と不思議そうな顔をする。と、首傾め、や近しい事じやないのすが保元、平治の亂につきつかりましてよ」と七百八十年前の災厄を繰出すので、固く古い美術品の事はかり評論してゐる美術家も感心「そればかり賣りは盛つたもので」と諷刺して引き下つた（實は近衛晋相）

本府追加豫算
第二號概計

△四百三十九

東亞證券

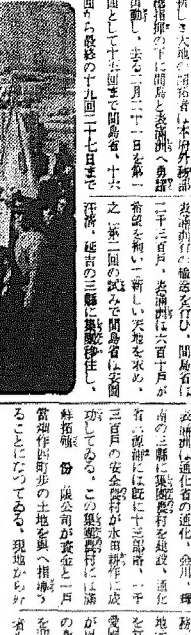
京城府黃金町二ノ一九九
代表電話本局(2)五一六一

！へ買を株一の業産局時づ先—國報券證

時局産業の完備を期するは、
銑後の守りの根本であり、
國民の蓄積を總動員して時
局産業に集中投下せしむる
ことは、刻下の最大問題であ
ります。

間島省へ移住の 新しき土の戦士

安全農村に擧る凱歌



新しき土の戦士

間島省へ移住の戦士は、安全農村に擧る凱歌を奏す。戦後、戦士は安全農村に移住し、新生活を送る。戦士の凱歌は、安全農村に響き渡る。戦士の凱歌は、安全農村に響き渡る。戦士の凱歌は、安全農村に響き渡る。

京城 平壤 複線工事

来月下旬から着工



京城平壤複線工事

京城平壤複線工事は、来月下旬から着工。工事の進行状況は、予定通り進んでいる。工事の進行状況は、予定通り進んでいる。工事の進行状況は、予定通り進んでいる。

死場所を探す 曲馬団の少女

皮鞭を嫌って脱走



曲馬団の少女

曲馬団の少女は、皮鞭を嫌って脱走。少女は、死場所を探す。少女は、死場所を探す。少女は、死場所を探す。

植村中將夫人 懲役一年の判決

三年間の執行猶豫

植村中將夫人は、懲役一年の判決。三年間の執行猶豫。判決は、公正であると見られる。判決は、公正であると見られる。判決は、公正であると見られる。

怪盗 米倉町に

貴金箱を盗む

怪盗は、米倉町に。貴金箱を盗む。怪盗は、米倉町に。貴金箱を盗む。怪盗は、米倉町に。貴金箱を盗む。

車輦税拂戻し 受取人二名

龍山署頭をひねる

車輦税拂戻しは、受取人二名。龍山署頭をひねる。車輦税拂戻しは、受取人二名。龍山署頭をひねる。車輦税拂戻しは、受取人二名。龍山署頭をひねる。

禹門口城一番乗り 敵の逆襲を見事撃退

わが岩崎部隊に榮譽の賞詞

禹門口城一番乗りは、敵の逆襲を見事撃退。わが岩崎部隊に榮譽の賞詞。禹門口城一番乗りは、敵の逆襲を見事撃退。わが岩崎部隊に榮譽の賞詞。禹門口城一番乗りは、敵の逆襲を見事撃退。わが岩崎部隊に榮譽の賞詞。

山西戦線 航空便

山西戦線の航空便。航空便は、山西戦線に。航空便は、山西戦線に。航空便は、山西戦線に。航空便は、山西戦線に。

山西戦線の航空便。航空便は、山西戦線に。航空便は、山西戦線に。航空便は、山西戦線に。航空便は、山西戦線に。

東西息子交換 初の対面

東西息子交換は、初の対面。東西息子交換は、初の対面。東西息子交換は、初の対面。東西息子交換は、初の対面。

家出女頻り

家出女頻り。家出女頻り。家出女頻り。家出女頻り。家出女頻り。家出女頻り。

臨時急行を 平壤まで延長

臨時急行を平壤まで延長。臨時急行を平壤まで延長。臨時急行を平壤まで延長。臨時急行を平壤まで延長。

天候予報

天候予報。天候予報。天候予報。天候予報。天候予報。天候予報。

輝く卒業式

輝く卒業式。輝く卒業式。輝く卒業式。輝く卒業式。輝く卒業式。輝く卒業式。

京城第二高普

京城第二高普。京城第二高普。京城第二高普。京城第二高普。京城第二高普。京城第二高普。

仁川中學校

仁川中學校。仁川中學校。仁川中學校。仁川中學校。仁川中學校。仁川中學校。

合格おめでとう

合格おめでとう。合格おめでとう。合格おめでとう。合格おめでとう。合格おめでとう。合格おめでとう。

美味桃屋の桃の詰

桃の詰。美味桃屋の桃の詰。美味桃屋の桃の詰。美味桃屋の桃の詰。

らくがく国軍

らくがく国軍。らくがく国軍。らくがく国軍。らくがく国軍。

精神科

精神科。精神科。精神科。精神科。精神科。精神科。

祝 御入学・御進級・御卒業

祝 御入学・御進級・御卒業。祝 御入学・御進級・御卒業。祝 御入学・御進級・御卒業。

学生時計恒例特売会

学生時計恒例特売会。学生時計恒例特売会。学生時計恒例特売会。学生時計恒例特売会。

国産優秀特選品

国産優秀特選品。国産優秀特選品。国産優秀特選品。国産優秀特選品。

材料時計店

材料時計店。材料時計店。材料時計店。材料時計店。材料時計店。材料時計店。

三井

三井。三井。三井。三井。三井。三井。

特製ランドセル

特製ランドセル。特製ランドセル。特製ランドセル。特製ランドセル。特製ランドセル。特製ランドセル。

新製豊大特賣

新製豊大特賣。新製豊大特賣。新製豊大特賣。新製豊大特賣。新製豊大特賣。新製豊大特賣。

社畜式株券証券初本日

社畜式株券証券初本日。社畜式株券証券初本日。社畜式株券証券初本日。社畜式株券証券初本日。

祝 御入学・御進級・御卒業

祝 御入学・御進級・御卒業。祝 御入学・御進級・御卒業。祝 御入学・御進級・御卒業。

学生時計恒例特売会

学生時計恒例特売会。学生時計恒例特売会。学生時計恒例特売会。学生時計恒例特売会。

国産優秀特選品

国産優秀特選品。国産優秀特選品。国産優秀特選品。国産優秀特選品。

材料時計店

材料時計店。材料時計店。材料時計店。材料時計店。材料時計店。材料時計店。

三井

三井。三井。三井。三井。三井。三井。

學生肉 ¥2.00 起
¥3.00 起

內科
兒科
醫學博士小村 榮二
コムラ病院
全地井邑支廳
方法院
右記於癸年冬月拾七日登記

在長渡邊甚吉
相談後藤山愛一郎
外務社員優遇招聘
朝鮮支部・京城府黃金町

....杯一の前食

別刷附録
賞金
壹千四百圓

婦愛國歌
懸賞募集
昭和四年就
に募集

流行の染色集

全眷肉筆の總二色刷り美麗大附録
手紙も文章も習字も
面白いはとろろ上達々一冊でも
この附録
四圓五圓の値打

本附録
文章は日本一の菊池寛先生指導
毛筆は日本一の比田井小琴先生指導
ペン字は日本一の鶴見芝香先生指導

廢物利用に家庭染色が大流行
僅かの費用で
お金と時間をかけずに廢物を新品同様
返らせる家庭染色の秘訣全部發表
トランプ、ハンカチ、手帕、浴巾、長襪、一切
簡単に出来る秘法
トランプ、ハンカチ、手帕、浴巾、長襪、一切

新世界平和へ進むのみ

[illegible]

基礎的施設を計る

九萬三千圓とて前年度歳入の總額三十四萬七千七百九十五圓に比較て四割七千七百九十八圓を減額するに至つた。

金山送電線
建設打合せ會

本府に於ては幾多より産業増進に料計費を適てゐるが、その計費に基本となる送電線の設備はその長短七二千料、建設費三千六百圓の巨額の必要となつてゐる。換つては、要箇所に於てこれ

獻金

十八日投ひ

防空器材

一圓十五錢 馬島山文藝學堂五十一錢一圓
學藝五年生二錢一圓
七圓五十五錢 宮崎府済公立看護學校女子部中平間生白野井洋一君
一圓三十八錢 宮崎府瀨日正寺大衆會
三、五、十、二十圓三錢也

累計四萬四千四百四圓

京城府會第四回

[illegible]

朝鮮銀行調査課
川合彰武

[illegible]

前年より四千萬圓増

[illegible]

七間五十段

金山送電線
建設打合せ會
本府に於ては、燒てより、飛龍嶺崖に對し、計畫を運んでゐるが、その計畫は、基本となる送電線の建設は、その長約七、二百料、建設費三、千五百圓の巨額のものであるが、然るに、概ね、一、百、五、十、里、に、於、て、之、れ、

一圓十八日扱ひ
學部五年生第一團
五十五錢 高島始漢
公立廣通縣立第一師範附小
生白好氏共計十二百
一五三十八錢
町三十九錢
日計二十圓三錢也
累計四千四百四十四圓
十九錢也

五百圓二十

[illegible]

★★★ 輯特 ★★★ 我全等是界世
國防取不獨革 世列軍事今 江北 對美

木村増太郎

對支文化工作の諸問題

少年運動 三島 章
 支那の革命論 小島 第一

人間・畑俊六 鈴木 中支の土

政權
 新しき義日
 政權かし生れ
 政なる中支の
 政なるを應る
 田中香昇用

江南風土記
波多博
友邦を喰ふ赤色帝國

[illegible]

今議會に現
經濟政策と法案
片山哲

吉
斯
汗
の
出
發

[illegible]

海音寺潮五郎

★**英米の提携は可うなるか**……小室誠

全世界は今混沌たる情勢中に、革新へ、轉換へ——と動きつつある！
我等は茲に、國民必讀の金字塔として、全世界の問題を網羅した！

時

スエーデン

洋物語
齋藤 孝佐士

取り残された佛蘭西
板倉
進
奇龍
後

のを鑑遊
 あすの朝陸
 がかり
 きへ石争す
 近場地底臨
 産日生
 産日出
 三三三
 成防衛英
 長民
 すの共計
 の米塔の
 米度即打
 國リム店診
 穴六下下近
 戸戸戸戸戸
 七左四四四

反人は醒めん
（帝國の繁栄
 上目録を添へし
 つた）
 ホース
 敵機臺湾

◆出席者◆
 アファニヌン王
 プラタツ
 シリヤタタ
 コレイラー
 印度国民委員
 サハイ
 印度代表
 ター
 ス

亞
三
終
は
起
會
談
座
は
割
に
中
佐
中

武藤貞一 7 ガルマ

かオールの二三粒を口中に含め、本質を口に含め、マヌカ、ウギの必要なきと同時に心身を爽快にし、



朴名譽總領事

[illegible]

川上 弘中將

皇軍慰問の
歸途寄城
中將川上義弘氏は十八日午後
廿八分「のぞみ」で入城、御

假面の紳商[〃]で五年間
まんまと廿萬圓

委託金専門に詐欺しまわる

被害者百名

この事件の真相にかゝつた被害者は否否近く被害額は二千英鎊にのぼつてゐるがそのやり口は全盤同一であつて、被害者の一人高島寛

伊勢大廟
桃山御陵
參拜を獎勵

「八紘一宇」の聖旨徹底を圖る

既解り如く「八紘一宇」の聖旨は、
普天萬土、悉くため總て府は四月
月三日の神武天皇を御して平島
主、昔年、臣、一統天下にわけ、
願の草も悉くへられてゐる。

程の習慣的の源を聞ければ、
事、臣、辨明、援助を願して學
その上に、期金下、府存二、

問題漏洩事件
答案再審査

鮮のラヂオ、通信會談には
 一、二回、一週の觀察を以て
 之を免ぐ、實地の方法として
 半島民衆、伊勢大橋、横山御陵等
 へ屢回、教育界の穴不窮事して
 烈、頗る感したところ、二年

再試験は行はない
 試験に合格中であるが、同校

普通科（既述）は某校の試験
 問題、漢文事件として、是處局
 百三十四名、赤黒人を以て新して

この子に泣かずや

働いてく 國防献金五圓

近藤祕書

無名青年學徒

貯蓄大衆運動

理財局と選任局とで大々的に
 この効果は期待されてゐる。

意外三男坊
 は罪の子
 粹な夫の訴へ
 と告ぐるの

あなこの
 見聞人
 といふ
 若き婦
 女は

國境に春の訪れ

鴨綠江の解氷

【安東十八日電】國境の驛の助は鴨綠江の解氷に始まつた。昨午四月二十三日、終極に氷融に開きだしてゐた。鴨綠江は冬の昔に、かく融き流れて、今が十八日の大融に先づ半解に押しの氷が解けて流れて、半融二回の季節には中央部の厚い氷が物難しきをたて、鴨綠江の山が覆れてゐるもの間、泣きを迫つた。

朝鮮絹織物

工場二棟全焼

女工の前途氣遣はる

十八日午後一時四十五頃某製紙火災、復興町一三萬間の操場大向外下町一八一番新築機織會社製紙工場に、單独に就いて目下東北（責任者新築氏）工場内の職工大向等に場主並に従業員、最初

煙草カール、下

れず焼けてひたひた吹きさらしに重傷、一死を蒙り、死者を達するに至る。此種事故は世に起るべきものなるに於て是を戒めたるのである。

惡鬼と化した次男

一家七人を慘死
娼妓の身請金を斷

一家七人を慘殺

[illegible]

動き出た印度

前十時か
初等學校
改正、

は之を向ふと見る。我輩が所望は月餅を見よ印度は確かに生じてゐる名統一、我輩が所望は印度から本府の主府を併合せ萬全を期することになつた、一萬學者我輩では廿日午

近藤 祕書官

無名青年學徒

范總領事令息
道華君に春朗が

一、取
所

東京市

三並信託株式會社本店
三井物産株式會社本店
三井物産株式會社支店

難町馬九ノ内
日本橋區墨町

在日前經人招接ニ據テハ宛照ル規定ニ依リ命付日涉四條ノ關合ニテ經濟利便可申寄候

[illegible]

光朝鮮の認識を強説するため豫て計畫中であつた標準カードの挿入

は「金瓶梅と興義安」、『特許あか
つ』、『戦艦』、『連発』、『敵
南滿洲病』、『朝鮮鐵道光化ル』
の五ノードと決定契約を閉め、
鐵道建設の普及と朝鮮輸入の
重要になつたが、ことに事故防止
に力を入れた。

初年度
定款記
成
板

男
女
社員採用

新制度實施ノ爲左記

日本デイズル工業株式會

京畿道立工業

早く志望校に入る。四月中には開校の豫
定では既報の如く八十名程を
募集して立上工部学校を新設す
るものとみられて
なほ同校の敷地
頭、水原、開校
運動を行つてゐる。

超感度全整色

「X」

フィルム

「X」

ポリエンタル

100%超整色

現像は既製の知入ノ成具を
 用いて、露光機に工用乾板を新製す
 るにたり目本府へ許可申請
 書を、四月中には開校の機
 会がある

定 名を綴す
いては生
係に在
すて京娘
て且て支
て四ツ

着て快
親のア
リイリ
タダブ・デ
のた訪問

揚子江
二百名共
時共共
春共共
分新共

十八日
西

有 利 保 險
社 長 板 谷 宣 吉

命 生

橋 本 來 談 ノ コ ト

京 城 府 永 樂 町 ノ 二 丁

生 命 板 谷 朝 鮮 支 店

約百萬石ノ買入行
保證金ノ交付
申込ノ受付
買入ノ決定
尙詳細ニ三月十五日ノ官報ニ
證報ニ三月三月

季節出廻帳量ノ節ノ爲内地米及朝鮮米ヲ
約百萬石ノ買入行
保證金ノ交付
申込ノ受付
買入ノ決定
尙詳細ニ三月十五日ノ官報ニ
證報ニ三月三月

東 日 本 電 力 株 式 有 限 公 司
東 日 本 電 力 株 式 有 限 公 司
東 日 本 電 力 株 式 有 限 公 司
東 日 本 電 力 株 式 有 限 公 司
東 日 本 電 力 株 式 有 限 公 司

投資組合
於ては
採りて
博し今
出資は
立を特
出資金
に從ひ
すに口

第二十回加入者募集

投資組合
於ては
採りて
博し今
出資は
立を特
出資金
に從ひ
すに口

[illegible][illegible][illegible][illegible]

看護
婦人 入塾 五十二歳 至五
電話 三三八〇 水 田

賣地
好住地 三坪 三坪 三坪 三坪
電話 三三八〇 水 田

求む
電話 三三八〇 水 田

女子
電話 三三八〇 水 田

求住
電話 三三八〇 水 田

至急
電話 三三八〇 水 田

宅地
電話 三三八〇 水 田

給仕
電話 三三八〇 水 田

家具
電話 三三八〇 水 田

犬猫
電話 三三八〇 水 田

特別が辛い
電話 三三八〇 水 田

敬學講義
電話 三三八〇 水 田

社員招聘
電話 三三八〇 水 田

第一生命保險相互會社
電話 三三八〇 水 田

證券株式會社
電話 三三八〇 水 田

